

# ⑬顔の見える活動で災害に強い地域づくり! ～「地域の和づくり」を防災力につなげる～

北鯖石地区自治防災組織（柏崎市）

## 団体概要

設立年度：平成21年度  
人口：2,955人  
世帯数：1,127世帯  
（ともに平成23年3月31日現在）



中学生による「もしもBOX」作成の様子

## 地域の状況

### 地理的状況

北鯖石地区は柏崎市の中心部より東に4キロに位置し、水田が広がる平場地域である。地域の中心には二級河川鯖石川が流れている。

過去の災害： H16年の中越地震 H17年の水害 H19年の中越沖地震

## ○組織結成の経緯

（結成までの経緯）

●H16中越沖地震に遭遇し、コミュニティレベルでの自主防災組織結成が急務であると感じたが、まだまだ全住民の意識がそこまでいかなかった。そこでコミュニティ振興協議会において北鯖石地域避難所マニュアル作成し全世帯に配布し、地域住民の意識の向上に努めていた中、中越沖地震が発生した。H19年度中に地区内の全町内会で自主防災組織を立ち上げ地域住民の防災に対する意思統一を図ることができた。その後H21年度に各自主防災会を束ねる北鯖石地区自主防災組織を立ち上げた。

（結成の際に苦労、工夫したこと）

●北鯖石地域避難所マニュアルを作成し、全世帯に配布し、地域住民の防災意識の向上に努めた。

（行政の関わりなど）

●復興基金事業等で防災資機材の整備を推進した。

## ○特徴的な取り組み内容

（自主防災組織活動の詳細な内容）

- 1 地域の実態を反映した防災訓練の実施
  - ・防災の意識を高めるためのワークショップを開催
  - ・地域の実態に即した防災訓練の実施
- 2
  - ・情報伝達方法の見直し
  - ・地域の緊急医療情報システムを構築（もしもBOX）
  - ・北鯖石地区避難所マニュアルの見直し
  - ・隣近所から始まる防災を目指す
  - ・まち歩き、挨拶運動などで安心・安全を守る
  - ・水害時の危険箇所やその他の災害時の対応マップ作成



北鯖石地区避難誘導訓練の様子



北鯖石地区安否確認情報収集訓練の様子

## ○組織の形態

会長 - 副会長 - 防災委員 - 班（1～6班）

## ○活動の成果や問題点など

### 【よかった点など】

●減災への知恵や心得を探るワークショップ開催し、当日は140人の参加があり、役員だけでなく多くの住民が地域全体で防災を考えるきっかけとなり、その後の活動の礎になった。

「もしもBOX」作成に中学生からも参加してもらい情操教育や減災意識の育成に寄与することとなった。

マップの作成により地域での危険・注意箇所を把握し、地域関係機関と協議し共通認識を持つことができた。

### 【苦労した点など】

●町内会とコミュニティは昔から表裏一体の活動をしてきたが、各組織間の事情や温度差があり、全地域住民一人ひとりまで理解をしてもらうことに苦労した。これを同じレベルに引き上げるため、何回も会合を開き、話し合いを重ねるなど、各団体や各世代が連携をとって、平常時から顔の見える活動を行うことで、「もしもの時」に役立つよう理解を深めてもらった。

## ○活動の課題や今後の取り組みの予定

### 【課題となっていること】

●地域住民の防災意識の向上を引き続き推進する。

### 【課題解決のための取り組み計画】

●堤防の高低差や地域の高低差を測量して、オーバーフローしやすい箇所や地域の低い箇所を図示したり、その他の風水害等にも対応できる地域の危険情報を盛り込んだ、地域のハザードマップを作成する。作成後、全世帯に配布し、危険箇所などを注意喚起するとともに住人一人ひとりが共通した認識の確立を図りたい。